

II かけ橋 II

第 24 号
編集・発行
願船坊
H29 年 5 月

朝活（朝コン）始めました！

四月より、願船坊の新しい活動、朝活（朝コン）を始めました。

毎週水曜日、朝六時半より、本堂でお勤め（讃仏偈）の後、住職のチェロ演奏があります。その折々で曲は変わりますが、一日の始まりに合う曲、皆様からのリクエストにもお応えできる範囲で弾いております。最後は『恩徳讃』をご一緒に歌い、七時には終了、という形の三十分間の朝活です。お仕事前に、一日の始まりに、心穏やかなひとときを本堂で過ごしてみませんか？お念珠をお持ちになつて、どうぞお気軽にお越し下さいませ。お待ちしております。



早朝の本堂で聴くと、とても心に響き、清々しい気持ちになります



おてらおやつくらぶ



てら
おやつ
くらぶ
おおく

〈おてらおやつくらぶ〉とは
お寺にお供えされるお菓子や果物などの「おそなえもの」を、仏さまから私たちがへの「おさがり」として頂戴し、さまざまな事情により経済的に困難な状況にあるひとり親家庭へ、「おすそわけ」する活動です。

全国には百四十万世帯を超えるひとり親家庭があり、その約六割が経済的に困難な状態にあります。そのような環境で育つ子どもにとって、食の問題は深刻であり、おやつや果物を食することなく生活する場合も少なくありません。多くの人々がこの問題に関心を持ち、自分たちでできることはないか？と全国各地で動き始めています。

現在、全国約六百ヶ寺のお寺が〈おてらおやつくらぶ〉に参加し、母子家庭支援団体や社会福祉協議会など二百五十を超える団体と連携し、国内の貧困問題を解決するために活動を行っています。おやつ、食品以外の日用品もお送りいただけます。（お米・海苔・缶詰・ジュース・お茶・砂糖・サラダ油等や季節もの（雛あられ等）も喜ばれます。皆様の支援をよろしくお願い申し上げます。

《おてらおやつくらぶより》

願船坊では、今年より社会福祉活動の一環として「おてらおやつくらぶ」に参加しています。お寺にお供え頂いておりますお菓子や果物等をお下がりとして、「おてらおやつくらぶ」を通して、なかなかおやつを食べることが出来ない子どもがいる、ひとり親家庭や家庭内暴力被害者シエルトー在任の方、貧困家庭を支援する団体にお裾分けいたします。よろしければ、皆様からのご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

今後、法座ごとに、お寺からのお下がり、皆様からのご支援物資（日持ちのするもの・賞味期限が二週間以上あるもの）をまとめて、「おてらおやつくらぶ」経由でお裾分けしていきたいと思っております。

第十四回ゆく年くる年コンサート

昨年末は十二月三十一日にゆく年くる年コンサートを開催いたしました。今回はチェロ三人、ピアノ二人、歌一人で、それぞれのソロを中心としたプログラムでした。

また、お寺のコンサートはすべて法話コンサートとさせていただきますので、住職の法話（無財の七施について）も挟みながらのコンサートになりました。

歌では、皆様と共に東日本大震災の復興テーマソング「花は咲く」を歌わせていただきました。皆様の歌声を聴きながら、ときおり涙される方々を目にしながら、まだまだ過去ではない現実を、今一度皆様と認識を新たにさせていただきました。沢山の義援金二八三九〇円も頂戴いたしましたので、震災にあつた子供たちへの義援金として送らせて頂きました。本当にありがとうございました。

その後、除夜の鐘突きも沢山の方々がお越し下さり、絶え間なく大鐘の音が鳴り響きました。沢山作った前坊守手作りの甘酒も、大鍋が空っぽになり、遠近皆様とのご縁をあたたかく、ありがたく感じることでした。

合掌



大晦日の深夜にもかかわらず、沢山のお客様がお越し下さいました！

秋供養・報恩講法要

昨年十一月二十八、二十九日に、安芸高田市吉田町の福泉坊ご住職・福間制意師をご講師にお迎えし、講題「まことの声を聞く」と頂きまして、お参りの皆様とお聴聞させていただきました。

福間先生のご法話より「おいわれを聞く」、阿弥陀如来の願いは《全ての人が幸せになつてほしい》であります。

人生の中で嫌なことや辛いことや悲しいことはいっぱいあるかもしれないけれども、その中に楽しいこともあるでしょう。その楽しいことを拾い上げていくような人生を歩んで欲しい。この世に生まれてくる時に頂いた沢山のもの、例えばこの肉体もそう、ご両親もご家族も。しかし、何よりも自分自身の才能を開花させて欲しい。その才能を開花するには、とにかく力を抜かずに、まっすぐに精一杯、全力でこの人生に向かっていって欲しい。人は皆何かしらの才能を持っている。自分以外の誰にもない才能がある。しかし仏様から見たら、私たちは怠けてしまったり、楽をしようとしたり、損得を考えてしまい、ただ流されて生きてしまっている。

この世界があなたに望んだことをできないまま、何もわからなのまま一年一年過ぎ去ってしまったっている。そのことになかなか気がつかない私たちを見て、阿弥陀如来様は私たちに《自分自身のいのちに出会って欲しい》と願われる。そのことに気がついて欲しいと願われ、私に会いに来て下さった。

《あなたを放つてはおけない、あなたとこの人生を共にして、そして片時も離れることなくあなたを護りたい》と願われて、私に会いに来られたのです。

お寺との出会いとその後

総代 岡田 哲幸

私がお寺にお参りし始めたのは、五年前にさかのぼります。その当時は仏壇の前で手を合わせるのには、年に一度の報恩講（自宅）・元旦の朝・盆ぐらいなどに数回でした。当時、たまたま私の地区のお世話をされていた総代さんが、お年も召され近所でもある私に、是非総代をお願いしたいと懇願され、他にもいないということ、仕方なく引き受けました。総代の役目も詳しく分からなく、寺のイメージも葬式ぐらいのものでした。それから仏教壮年会にも入会し、少しずつ行事にも参加し、総代の役目もなんとなく取り組んでいました。

今から三年前七月二十日の朝、突然母が自宅で倒れ、救急車で市民病院に運ばれました。結果、脳梗塞で、左半分が不随となり、さらに入院中、緑内障を起こし、両目が失明しました。その後、協立病院でリハビリに励みましたが、回復しませんでした。現在は、施設で療養しています。

母の事もあり、自分自身の気持ちの切り替えなどから、毎朝仏壇に手を合わせるようになりました。お寺へお参りし法話を聞き、さらに昨年は、門徒推進員要請連続研修会（連研）に参加させて頂き、僧侶が一方的に話をし、受講者が一方的に聞くという従来のスタイルとは異なり、毎回テーマに基づき、受講者が班に分かれて討論し発表するという内容で、「聞く・話す」ということを繰り返しながら、参加者との新しい人間関係が構築され、大変有意義な研修会でした。未だ参加されていない方は、是非参加して頂きたいと思います。

願船坊☆日曜学校

これらのことを通して、浄土真宗の教えが、少しだけ理解できるようにになりました。

常日頃から声を出して「南無阿弥陀仏」と称える素晴らしさと、阿弥陀様への感謝の気持ち、私と家族皆が、一日一日健康で何事もなく無事に過ごせることを願い、これからも毎朝御仏壇に手を合わせ、引き続きお寺参りをし、仏教壮年会などの活動を続けてまいります。

合掌

かけ橋では、門徒様の声やエピソードなどを紹介していきます。ぜひ文章をお寄せくださいませ。お待ちしております。

願船坊では、毎月第四日曜の朝八時半より、三歳〜小学六年生までの子ども二十人程で日曜学校を開催しております。

小学校高学年が導師を勤めての十二礼や正信偈のお勤め、お焼香作法、子供向け法話、仏教讃歌、折々のレクレーションを行い二時間ほど本堂で過ごし、午前中いっぱい境内で楽しく遊んでいます。年齢差のある中で、お互いの思いやりや譲り合いの心を身につけているようです。レクレーションでは、お餅つき大会やお泊り会、盆踊り会、バーベキューや他寺との交流など、幅広く活動しています。



4月の日曜学校では、お釈迦様のお誕生日をお祝いしホットケーキを作りました



住職のひとこと法話

「葬儀の予約」、報恩講法要・福間先生のご法話より、

一週間後にお葬儀をして頂きたい、とのお電話があり、お葬儀の予約は初めてのことでしたので、お話を聞きしました。

せっかく授かったお子さんではあっても、親の事情により、どうしても墮胎せざるを得なかったご門徒様。その墮胎日がその子の葬儀の日という事だったそうです。

その葬儀の際、先生はこのようにお話しになったそうです。

一つには、赤ちゃんはお念仏に遇っていないので、お浄土に参ることが出来ません。残された私たちが必ずや仏となり、赤ちゃんを捜しにいき、導いていきましよう。

もう一つは、私たちにお念仏に遇って欲しいと願い、仏の世界より目に見える形となつて現れてくださった、仏さまの化身と思わせていただきましたましよう。(福間 制意師)

このことこそ、亡きお子さまのいのちが確かな形となり、私をまことの世界に目覚めさせ、悲しみに暮れる毎日が、阿弥陀如来に遇わせていただけただけの喜びの日々へと、転換させていくものなのではないでしょうか。

私たちは、死んだら誰でもお浄土にまいり、仏となるわけではありません。親鸞聖人がご苦労されて伝えて下さったみ教えを聞かせていただき、阿弥陀如来のご本願に出逢えたことがどれほど喜ばしい事かということに気が付き、このことに報恩感謝の毎日を送らせていただくばかりです。

合掌

☆お知らせ☆

夏供養・永代経法要(三明 慶輝師)

六月二十四日(土) 朝席・昼席

※二十四日のみのご法座となります

第十二回平和コンサート

九月二十四日(日) 午後三時より

仏教婦人会法座 (牛尾 かおり師)

十月二十日(金) 昼席・夜席

二十一日(土) 朝席・昼席

☆どうぞ皆様是非お参り下さいませ。

☆朝活(朝コン) 毎週水曜日 朝六時半〜七時

☆仏教壮年会 毎月第二水曜日 午後七〜九時

☆仏教婦人会 毎月十六日 午後一時半〜三時

☆日曜学校 毎月第四日曜日 朝八時半〜十時半

※日時は都合により変更する事があります

お寺のホームページです。

<http://www.gansenbou.com>